

青山同窓會報

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635

新潟県立新潟高等学校内

TEL 025-266-5268

FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所

〒950-8724 新潟市中央区和合町2-418

TEL 025-285-7161

FAX 025-282-1776

ご挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)

53 卒



況です。地球内部の状況変化に対する研究や観測体制そして命や生活を守る地震対策を充実させる必要がありますが、同時に自分の安全は自分で守る心構えが大切と感じます。

昨年の御嶽山の噴火に続いて今年も箱根大涌谷や口永良部島の噴火などがあり、さらに小笠原諸島を震源とする M8.1 という大きな地震も発生いたしました。東南海大地震を想定した大規模地震対策特別措置法が昭和53年に制定されて以来、地震計の設置、地震の起るメカニズムの解明、建物の耐震化工事などが進んでいます。残念ながらまだ何時、どこで、どのくらいの大きさで地震が発生するかということは予測できない状態

第2次世界大戦が終了してから70年も経過しておりますが、いまだ世界には数々の戦闘状態があつとを絶ちません。宗教間の、あるいは民族間の激しい戦闘がある一方独立を求め、あるいは領土を争う戦闘も続いて居ります。小民族が抑圧された状態です。他民族の支配下にある地域の存在などを考えると、紛争の種はつきることが無いのではと思えるほどです。わが国も集団的自衛権の行使を巡って国会で厳しい対立がありますが、基本は自分の国は自分で守るということでありましよう。

一方国内では限界集落などと呼ばれて地域の存立が危ぶまれる地域が多く存在しています。実際、集落の伝統行事が出来なくなるとか、集落自体が存立できなくなる事態が生じています。数百年も続いた集落が消滅するのです。生活は近代化して便利になり、交通手段も発達しているのに集落の維持すら出来なくなるのです。かつては遠く離れた僻地でも自給自足で生活が成り立っておりましたが、若者の流出などにより今では生活能力も生活共同体としての地域の力も欠落して来ているのでしよう。一方都会の真ん中でも放置された危険空き家対策が求められ、孤独死などの社会問題が多発しています。隣組や町内会などの地域の生活共同体の崩壊が起きているのです。また携帯電話やパソコンなどの発達で個人や地域にとって便利な情報提供手段となっておりすが一方で思いがけない犯罪の手段に使われ、国際的な犯罪の手段に

青山学術文化講演会

今年も新潟高校卒業生で、各界でご活躍の方々から講演をして頂きます。

皆様のお越しを心からお待ち申し上げております。

開催日 10月31日(土) 13:30～16:00

定員 400名

(一般市民の方々にも聞いていただきます)

会場 新潟県立新潟高等学校 視聴覚ホール

- ・駐車場はありません
 - ・スリッパの数が限られています。
- なるべく「上履き」をお持ちください。

参加費 無料

講演予定者

鈴木 正之さん (67回卒)

名古屋大学名誉教授、ハルビン工業大学客員教授

演題 「航空宇宙の中心技術
—制御システム工学について—」

航空機やロケットの飛行の安定や安全性を支えている制御システム工学について解説し、さらにこの技術の波及が私達の生活全般に及ぼす深刻な影響、特に安全の問題について考えます。

金巻 栄作さん (84回卒)

創業明治4年 株式会社金巻屋代表取締役社長

演題 「和菓子は我が師」

「美しさ」「美味しさ」の他に「心」を持つ和菓子。その意匠は日本人の美意識と深い関わりがあります。新潟の文化を写したお菓子や、その生まれる過程など、和菓子の魅力をお伝えしたい。

お申し込み方法

当日、直接お出でください。当日は満席になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ

青山同窓会事務局 電話・FAX 025-266-5268
E-mail niigata_aoyama@yahoo.co.jp

平成27年 青山同窓会新年会報告

北畑雄一郎 (108回) '00卒

すらなっています。
われわれの生活は実にさまざまな危険に取り巻かれているといえましょう。そしてこれらの問題の解決に向けては、結局は共同体を構成している個々の「自立」が基本であり、自己責任に委ねられるべきことが多いことが分ります。
自然界の生物と同様に人間も自分のことは自分でする。という基本を忘れてはいけないと思います。若者にとっても高齢者にとってもこの原則は大切なこと

とでしょう。そして自分の出来ないことを他人様のお蔭で助けて頂いていることに気がつき感謝の気持ちが生まれます。
これからの益々国際化は進みます。世界の優秀な人と競って研究開発を深め、安全を強化し、国際的な平和共存を可能にする知恵を創造することが若者に期待されます。青山同窓生にも多くの分野で国際的に活躍し、世界そして日本の将来を担う人材が育つことを期待したいと思っています。



東京青山同窓会

新人歓迎会・講演会

校内幹事 森 克也 (93回) '85卒

6月19日(金)ANAインターコンチネンタルホテル東京において、123回生を迎え、東京青山同窓会が開催されました。参加者は東京青山同窓会から58名、123回生が20名、新潟からは長谷川義明会長(61回)、富山修一幹事長(75回)、新潟高校より2名の職員、校内幹事森が参加しました。

歓迎会を企画、運営してくださった東京青山同窓会の皆様、世代を超えて新人を激励し、温かく迎えてくださった参加者の皆様に深く御礼申し上げます。大学生活は始まったばかり、新しい環境に慣れたわけではありませんが、タイミングの良いときに開催していただき、新人たちにとって心が温まるひとときであつたと感じております。

第1部は原茂樹さん(90回)の司会で開会しました。猪口孝東京青山同窓会会長(70回)、長谷川義明会長より御挨拶をいただきました。旧3学年の学年部長であつた永村邦栄教諭からは青山同窓生の皆様への感謝が伝えられました。続いて、新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室室長の北村亮様から「佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて」と題した講演がありました。佐渡金銀山の世界遺産登録にまつわる史跡があり、その文化的価値の高さ、経年変化が進む史跡の保存に尽力している様子を御講演いただきました。

昨年度の読売広告大賞で準グランプリを受賞した畑山雅俊さん(17回)が恒例の新人コールを行い、今回の新人参加者20名が登壇、紹介されました。123回生の代表、目黒晶行さんが返礼の辞を述べました。

平成27年2月20日(金)、ホテルイタリヤにて青山同窓会新年会が開催され、平日にもかかわらず、100名を超える参加がありました。

次に、篠田昭新潟市長(75回)が新潟市が15年から17年東アジア文化都市に選ばれたことや、農業戦略特区として地域との連携で小学生にさまざまな体験をさせたことにより学力が向上したというお話をされました。

最後に渡辺政次さん(86回)のリードによる参加者全員の丈夫の斉唱があり、砂田徹也副会長(81回)の締め、大盛況の同窓会新年会が開きとなりました。

第2部懇親会は、宮本真理子さん(120回)が司会を担当し、小村幸久さん(59回)の御発声で懇親会が始まりました。東京青山同窓会の皆様は旧交を温め、和やかな雰囲気の中、近況を伝え合いました。この春上京した123回生は少し新潟が恋しくなってきた頃であり、永村前3学年部長や在学時の担任であつた古澤俊明教諭(88回)と歓談が盛り上がりつきました。佐藤信秋参議院議員(74回)からは新人に向け激励をしていただきました。その後再度新人20名が笑顔溢れて登壇。島津孝さん(84回)が旧制校歌を、本間遼さん(123回)が新制校歌をリードし、高らかに斉唱しました。そして最後は丈夫。星野紹英さん(84回)と山田謙介さん(123回)が音頭をとり、大合唱で閉会となりました。

最後になりますが、この新人

続いて、草間俊之校長より、導入された移動式電子黒板に関する感謝が述べられ、年度末で受験に向かい努力する3年生の姿や新高校入試について本校の

この日、最年長である前会長の上村光司さんのご発声で乾杯となり、その後公務で遅れていた衆議院議員の石崎徹さん(110回)が到着され、2期目の当選の御礼と地方創生に対する意気込みを話されました。

最後に渡辺政次さん(86回)のリードによる参加者全員の丈夫の斉唱があり、砂田徹也副会長(81回)の締め、大盛況の同窓会新年会が開きとなりました。

昨年度の読売広告大賞で準グランプリを受賞した畑山雅俊さん(17回)が恒例の新人コールを行い、今回の新人参加者20名が登壇、紹介されました。123回生の代表、目黒晶行さんが返礼の辞を述べました。



関西青山同窓会開催

島田 茂 (83回) 75卒

平成27年2月28日(土) 14回
目となる関西青山同窓会が、
ウエスティンホテル大阪で開催
されました。

新潟から長谷川義明青山同
窓会会長(61回)及び校内幹
事櫻井麻利子教諭(94回)を
迎え、61名が出席しました。
前回に比べ10名程増え喜ばし
い限りでした。

伊藤洋介君(83回)の司会で、
最初に最年長である青木久馬さ
ん(59回)より開催のご挨拶を
いただき、新潟弁をしゃべれる
唯一のこの会を楽しみにしてい
るとの関西青山会ならではのこ
挨拶でした。

今年の講演は元フジテレビ・
ゼネラルプロデューサーで現在
は近畿大学総合社会学部の横山
隆晴教授(79回)にお願い致し
ました。経歴から、さぞや高校
時代から優秀だっただろうと想
像しましたが、これが意外で、
3年時の成績は、460名中
459番目で、卒業できたのが
奇跡としか言いようがなかった
とのこと本人の述懐でした。講演
の題目は「大切なことはすべて
新潟高校が教えてくれた」でし
たが、横山さんならではのお話

で、場内を唖然?と爆笑の渦に
巻き込んでくれました。
楽しい講演の後は清野坦さ
ん(64回)の音頭で乾杯し、
歓談となりました。

好きな事は断固続ける勇気が
必要とのエールに現役大学生も
大いに元氣付けられ閉会となり
ました。
来年も同じく2月に開催を
予定しますので、より多くの
皆様のご参加をお願い申し上
げます。

現役大学生5名の自
己紹介の後、新潟の
長谷川会長よりご挨
拶を頂き、本部での
青山同窓会の新年会
の盛会と青山学術文
化講演会に於いては
母校の多彩な人材か
ら講演を行ってもら
い毎回盛会とのお話
でした。櫻井校内幹
事からは母校の近況
として、特に女子陸
上と女子フェンシン
グ部での活躍を報告
して頂きました。
楽しい時間もあった
いう間に過ぎて、最後
は全員で旧校歌、新校
歌、さらに「丈夫」を
大合唱しました。
お開きは関西青山同
窓会の副会長で川崎ヒ
ロ子さん(67回)から
ご挨拶をいただき、ご
自身の抽象画のお話か



新潟県立新潟高等学校創立百二十周年記念事業収支報告

(単位:円)

収入の部	前年度末(平成 26年3月31日) までの累計額	当年度(平成26 年4月1日から 平成27年3月31 日まで)発生額	当年度末(平成 27年3月31日) までの累計額	当年度発生額の主な内訳
同窓会寄付金	25,068,920	0	25,068,920	
P.T.A.寄付金	4,199,000	0	4,199,000	
法人寄付金	6,100,000	0	6,100,000	
団体寄付金	1,625,549	0	1,625,549	
祝賀会会費	2,320,000	0	2,320,000	
祝賀会祝儀	110,000	0	110,000	
青山百二十年史収入	5,797,800	10,000	5,807,800	1部入金
雑収入	5,571	11,214	16,785	寄附金追加入金、預金利子
収入総額	45,226,840	21,214	45,248,054	

支出の部	前年度末(平成 26年3月31日) までの累計額	当年度(平成26 年4月1日から 平成27年3月31 日まで)発生額	当年度末(平成 27年3月31日) までの累計額	当年度発生額の主な内訳
記念事業費	28,619,337	0	28,619,337	
教室のICT化	15,699,915	0	15,699,915	
教室窓の遮光フィルム	3,885,000	0	3,885,000	
周辺機器、教材作成用機材	956,567	0	956,567	
青山百二十年史	7,966,095	0	7,966,095	
青陵特別号補助	100,000	0	100,000	
予備費	11,760	0	11,760	
記念行事費	4,269,492	0	4,269,492	
記念式典	637,052	0	637,052	
祝賀会	2,260,725	0	2,260,725	
講演者、演奏者謝礼	997,770	0	997,770	
諸費	373,945	0	373,945	
総務費	3,712,234	0	3,712,234	
印刷費等	1,975,330	0	1,975,330	
消耗品費	26,240	0	26,240	
郵送料	1,710,664	0	1,710,664	
備品費	85,260	3,524,774	3,610,034	可搬型ホワイトボード電子黒板一式 4台 2,700,000 プロジェクターランプ 10個 380,160 電子黒板ユニット 3台 278,019
諸費	0	994	994	振込手数料
支出総額	36,686,323	3,525,768	40,212,091	

収支差額	8,540,517	△ 3,504,554	5,035,963	第四銀行白山支店 普通預金 No.1656754
------	-----------	-------------	-----------	--------------------------

平成 27 年 4 月 7 日

上記の通り相違ないことを確認致します。

監事

監事

新任のごあいさつ

校長

石井 充



このたび、定年退職された草間俊之校長の後任として、県教育庁高等学校教育課長から、平成 27 年 4 月 1 日付けで着任いたしました。

これまで、特色ある学校作りや高校入試改革をはじめとした様々な施策の推進や議会への対応が私の仕事でしたが、学校という「原籍」に戻り、たくさん生徒の活動を目の当たりにしながら勤務できることはこの上ない喜びであります。また、同時に、本校の輝かしい歴史と伝統、県民の本校に対する大きな期待を考えると、あらためて、新潟高校長としての職責の重さを感じております。

青山同窓会の皆様には、これまで同様、本校へのご指導、ご支援を賜りますよう、心からお

願ひ申し上げます。

さて、本校は 4 月に普通科 7 クラス、理数科 2 クラスで男子 177 人、女子 189 人、合計 366 人の新入生を迎えました。入学式では、「まず第一にあるべきことは、大きな変革の時代を生きるために、将来にわたって学び続けることができるような基礎を固めることです。また、勉強とそ

の成果は、自分のためだけでなく、社会のために役立つものになければならないということも自覚すべきです。」と新入生に伝えました。

現代は、生産年齢人口の急減、グローバル化・多極化という状況の中にあり、教育の重要性はたびたび議論されておりますが、文部科学省では、大学入試改革を含む「高大接続」の改革に着手しました。

本校では、これからの時代を生き抜くために必要とされる「確かな学力」を身につけさせるべく、教職員は日々、努力を重ねているところです。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

有難うございました

最後になりましたが、青山同窓会の今後ますますのご発展とご挨拶いたします。

前校長

草間 俊之



尊敬する大滝校長先生の後を引き継ぎ、3 年間、校長職を愉しく務めることができました。青陵健児は勿論のこと、教職員、PTA、青山同窓会の皆さん、関係各位には、様々、助けていただきました。感謝するばかりです。

とりわけ、青山同窓会には、創立百二十周年記念事業の中心として、記念式典の実施や電子黒板の導入など、多大なる御支援をいただきました。改めて、感謝申し上げます。

また、この 3 年間、国の教育改革が、自民党の教育再生実行本部の提言、内閣府の教育再生実行会議のまとめ、そして文科省の中教審という序列化が有効に機能し、急ピツ

チで進められてきました。今でも、是非は兎も角、日本の教育がかつてない岐路にあることは、間違いのないと思っております。

監事就任あいさつ

逸見 和宏 (85 回)

77 卒



受け継ぐ、全ての青陵健児が、青山の地で培った丈夫精神を胸に抱き、勇気をもって、激動の時代に向かって、漂えども沈まず、漕ぎ出さんことを願って已みません。

青山同窓会の今後益々の充実、発展を祈念申し上げ、退任の御挨拶、御礼とさせていただきます。本当に有難うございました。

主要な費用は削減が難しいため、結果として繰越金が徐々に減ってきているのが実情です。このままでは資金繰りに支障をきたす事態に至らないとも限りません。

この度、会長のご指名により青山同窓会監事に就任いたしました。卒業生総数 4 万人を超える同窓会の監事ということで、役職の重さに身が引き締まる思いです。前任の渡辺監事の急逝を受けて年度途中での登板となつたため、就任後早々に平成 26 年度の監査を実施したところです。

同窓会は主として会費により運営されますが、ここ数年会費収入は減少傾向にあり、平成 26 年度には 7 百万円切の水準にまで低下しました。総会に關しても参加者の減少が続く、総会費収入が大きく減少しています。一方で通信費、広報費といった

今後には青山同窓会の役員として同窓会活動をさらに活性化させることを念頭に置きつつ、組織としての運営が適切になされるようしっかりとモニタリングしていきたいと思ひます。会員の皆様にもご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

PTA 会長あいさつ

宮本 伸吾 (87 回) 79 卒



平成 27 年度 PTA 会長の宮本伸吾と申します。安吾墮落論を真に受けた丁みれの昭和の遅刻王がよもやの役職を拝命いたしました。

ご父兄並びに教職員の皆様、さらには同窓会の皆様のお力添えをいただきながら、文は反面教師、武は応援団長としてお手伝いさせていただき所存でございます。1 年間なにとぞよろしくお願いいたします。

久しぶりに学び舎にしばしばお邪魔する機会が訪れまして(旧校舎の面影は既に記憶とにもありませんが)現在の高校の様子を少しばかり。現役生はほぼ半数が女子となりました。理系につきものでしたやもめクラスなる言葉もはや死語。本年度新入生に至っては過半数を超えています。青陵祭の丈夫も

キーが半音上がったかのような印象を受けております。

このような状況下、平成 25 年度入学生より女子の推奨服が導入されておりましたが来年度入学生からは、推奨服を制服とする決定がなされました。

女子制服の規定がなかった本校におきましては大きな変革と思います。とりわけ O G の皆さまにはご異論もあろうかとは思いますが自主自律の自由な精神までを奪うものではなく、豊かな時代であればこそその学校の英断と個人的には思っております。

外面上はどうあれ志を持って入学された子供たちの向上心はすばらしく世界へ通じる人材となるべく勉学にスポーツに励んでおります。

PTA といいたしましては、子供たちの成果が最大なるような環境を整えるべく、先生方との橋渡しとなればと思っております。

同窓会の皆様のお力添えを重ねてお願いいたしましてごあいさついたします。

東北青山同窓会 第 5 回総会

日 時 平成 27 年 10 月 3 日 (土) 16 時～

会 場 仙台市 江陽グランドホテル

- ・総会に先立ち、齊藤元章様(第 94 回、株式会社 PEZY Computing 代表取締役社長)より「次世代スーパーコンピュータ開発とシンギュラリティ(技術的特異点)に向けて」と題して記念講演をいただく予定です。
- ・詳細は、決まりましたら東北青山同窓会ホームページ・フェイスブックグループページ等でお知らせする予定としております。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/tohoku-aoyama/>

東京青山同窓会 平成 27 年 総会のご案内

日 時 平成 27 年 11 月 6 日 (金)

受付開始: 午後 6 時

開 会: 午後 6 時 30 分

会 場 ANA インターコンチネンタルホテル東京

港区赤坂 1-12-33 TEL 03-3505-1111 (代)

会 費 一般: 8,000 円 女性: 6,000 円 大学生: 3,000 円

プログラム

- ◇総会議事 ◇ 会務報告・会計報告など
- ◇懇 親 会 ◇ 着席ブッフェ
- アトラクション (90 回担当)

問い合わせ先

東京青山同窓会事務局
(有)ジェイ・クラブ内 TEL 03-3423-3591
E-mail: kusakabe@moon.email.ne.jp

《予告》 82 期 9 月 20 日 (日) に還暦記念同窓会を盛大に開催

～「新潟芸妓総揚げ」で賑やかに(会場: 行形亭)～

82 期還暦記念同窓会 実行委員長 早福 弘

青山の学舎を後にして早 41 年。我々 82 期生がいよいよ満 60 歳を迎える年となりました。

我が同期は、卒業 20 周年の平成 6 年以降 5 年毎に「節目」と称して大がかりな同期会を開催してまいりました。

今回は「特に大きな節目」ですので、昨年 9 月、早々に男女 9 名の幹事からなる実行委員会を立ち上げました。これまで既に 5 回集まって趣向を練ってきた結果、漸く内容が固まりました。

この度は、この同窓会報の紙面を拝借して、広く同窓生にお知らせするとともに、同期生が奮って参加されんことを心から期待するものです。

なお、実行委員会では「参加者 120 名以上」と高い目標を掲げております。同期生の皆さまには、ご自身は勿論お近くや懇意の友人にお声掛けの上、多数のご参加をいただきますようお願い申し上げます。

おって、プレイベントには同期生のご家族に加え、青山現役や OB の皆さまのご参加も歓迎いたしますので、ご都合のつく方は是非お越しください。

【還暦記念同窓会本会】

日 時 平成 27 年 9 月 20 日 (日)

12:30 受付開始 13:00 開宴

会 場 行形亭 (新潟市中央区西大畑 5 7 3)

会 費 18,000 円 新潟芸妓総揚げ!

【プレイベント】

① 82 期同期生による講演会

日 時 平成 27 年 9 月 19 日 (土)

14:30 受付開始 15:00 開演

会 場 ホテルメッツ新潟 (新潟駅西側連絡通路直結) 2 階会議室

会 費 無料 (同期生のご家族、青山現役、OB のご参加も歓迎いたします)

② 前夜祭 信濃川ウォーターシャトルクルージング

日 時 平成 27 年 9 月 19 日 (土) 17:30 出航

場 所 万代シテイ船着場より出航

会 費 5,000 円



講演 2

「奈良への憧れから
新潟の歴史発見へ
—私の考古学 40 年—」
奈良大学文学部教授
坂井秀弥さん (81 回)

奈良への憧れ

新潟には歴史がないと言われていた高校時代、修学旅行で飛鳥の地で古代史に感動し、関西学院大学・大学院に進み考古学に出会った。卒業後、新潟県教育委員会で 13 年間遺跡調査に従事した後、16 年間文化庁に在籍。その後奈良大学で教鞭をとる。

考古学からみた新潟の古代史

有名な古絵図に新潟平野は一面の海に描かれている、しかしこれは偽図だ。新潟市でも 6000 年前の縄文土器が見つかった。新潟の古代史は私が調査した遺跡から大きく変わった。直江津にあったとされる古代の国府は、当初上越市高田の今池遺跡付近にあり、その近くに越後国分寺があった。国府は平安時代にはいと直江津に移転した。古代の人びとが暮らした村は、古代国家の成立・崩壊とともに形成・移転した。当時の焼き物の須恵器は当初笹神丘陵や新津丘陵で生産されていたが、平安時代になると佐渡小泊産の製品が流入する。昭和 60 年代に調査された新潟市小新付近にある縄文遺跡からは、和同開珎や鮭漁の漁具が大量に出土。越後から多くの鮭を献上していることを裏付けた。的場遺跡は保存され新潟市の史跡公園になった。当時の市長、長谷川会長には感謝を申し上げたい。地域の歴史をものがたる遺跡は全国にある。奈良や京都だけに歴史があるのではない。どの時代においても人々は地の利を生かし英知を集めすばらしい文化を築いていたことがよくわかる。

大和政権の最前線新潟

新潟の地は北陸・東北・信濃の文化圏・勢力圏が交差し、複雑な様相をもつ。新潟は日本列島の日本海沿岸のほぼ中間、気候・環境の変わり目の地に位置していることと関係する。昭和 62 年調査された弥生時代の古津八幡山遺跡では、列島最北の高地性環濠集落と、4 世紀と思われる新潟県最大、直径 50 m 以上の大型古墳が発見された。環濠は吉野ヶ里遺跡などでみられる防御施設で戦争があったことを示す。この時代は魏志倭人伝に「倭国乱れる」と記述されており、その情勢が新潟まで及んでいた。

邪馬台国から大和政権へ

卑弥呼が死去したのは 3 世紀の半ば。畿内に大型前方後円墳が築造され、大和政権が成立するのはかつて 3 世紀末・4 世紀初めと考えられていた。しかし、古墳の年代は古墳に副葬された中国製の鏡、土器の形の変化、科学的な年代測定などの研究が進展した結果、3 世紀半ばにさかのぼり、卑弥呼から大和政権の成立は連続することが判明した。大和政権初の古墳は 280 m の大型前方後円墳、奈良県箸墓古墳だ。邪馬台国の所在地は魏志倭人伝の読み方、解釈で九州説、近畿説があるが、大和政権が成立した箸墓古墳（卑弥呼の墓説もある）の近くにある縄文遺跡の可能性が出てきた。最近、卑弥呼の館跡との説もある大きな柱の跡も発掘されている。

縄文遺跡では九州、東海、北陸や関東地域など各地の特徴を持った土器が異常に多く発掘されている。邪馬台国が 30 余国を統括し卑弥呼の死後に大きな墓が造られた記述ともあう。九州の遺跡は邪馬台国時代には衰えるものが多く、九州の特徴を持った土器は奈良ではほとんど出ておらず、九州勢力の移動説も考えにくい。大和政権の誕生には吉備勢力（岡山）も強く関係しており、広範囲の勢力が連携して成立したと考えられるが、邪馬台国は畿内、奈良にあった可能性がきわめて高い。

淳足柵と古代越後

大化改新後は日本では中国（唐）の危機感から国家防衛のため、西日本各地に山城や大宰府の防塁を建設した。一方、北方に対しては新潟の淳足柵、岩船柵をはじめ、東北地方に多くの城（柵）を建設した。「淳足」は「沼垂」に通じ当時の阿賀野川右岸の河口付近の砂丘にあったとみられる。

新潟の町と遺跡

新潟町は 1655 年にいまの地に成立した。その頃の建物も見つかっており、新潟は 400 年の歴史がある。白山公園は明治 5 年につくられた日本最初の都市公園。100 年前にできた万代橋は新潟町と沼垂町を一つにした。三代目の今の橋は国の重要文化財。万代橋地下通路工事からは初代万代橋の橋脚が出ている。新潟の町も決して歴史がないわけではない。私の仕事は「地域の文化財を慈しみ、わが町を育む」ことだと思う。今後も地域の歴史文化を大切にして、わが町に対する愛着、誇りをもち人材を育てて行きたい。

青山同窓会 平成 28 年新年会のお知らせ

来年の新年会は平成 28 年 2 月 19 日(金)を予定しております。
詳細は次号会報に掲載いたします。

★青山同窓会の書籍等のご案内★

創立百二十周年記念事業の一環として作成しました書籍等を、ご希望の同窓の皆様にお分けいたしております。また、校歌・応援歌を収めた CD もございます。

ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。

『青山百二十年史』書籍(CD-ROM付き)	10,000円(送料・振込手数料別途)
創立百二十周年記念式典DVD	2,500円(送料・振込手数料別途)
『青山同窓会 百二十年名簿』	5,000円(送料・振込手数料込み)
校歌・応援歌CD	1,000円(送料・振込手数料別途)

第 11 回 青山学術文化講演会開催報告

記録 江口 直禎 (56 回)
構成 会報編集委員会

第 11 回青山学術文化講演会が平成 26 年 12 月 6 日に開催されました。母校の耐震補強工事日程の関係で開催がずれ込んだため会報掲載が夏号になりました。

講師は次の方々です。

「肝臓移植の最前線」

熊本大学小児外科・移植外科教授、熊本大学医学部
付属病院前病院長、日本移植学会副理事長

猪股 裕紀洋 さん (79 回)

「奈良への憧れから新潟の歴史発見へー考古学 40 年ー」
奈良大学文学部教授 (考古学・文化財学)

坂井 秀弥 さん (81 回)



講演 1

「肝臓移植の最前線」

熊本大学副学長

医学部付属病院前病院長

小児外科移植外科教授

日本移植学会副理事長

猪股裕紀洋さん (79 回)

私は、木戸小学校、東新中学校、新潟高校から京都大学医学部卒で、2000年から熊本大学医学部で仕事をしている小児外科医、移植外科医である。本日は、私の仕事の中心である肝臓移植のお話をさせていただきます。

肝臓は成人で1.5kgある大きな臓器で、右が大きく左小さい三角形をしている。一部切っても残りが大きくなる再生機能があり、解毒分解、代謝（タンパク質合成）、胆汁合成（老廃物を流し出す）が三大機能である。その病気には、先天性、急性、慢性とがある。急性は命にかかわる劇症肝炎、慢性は肝炎からの肝硬変や肝臓癌が多い。肝臓癌では年間3万人、肝臓病すべてでは年5万人が死亡している。慢性肝臓病は西日本で多い。最近、ウイルス性肝炎の薬が進歩し、早期治療で治るほか、慢性肝臓病は上手に管理すれば移植せずとも現状を維持できることも多い。肝硬変が進むと肝臓移植しか手がなくなる。子どもの肝移植では胆道閉鎖症が一番多く、妥当な処置しないと2歳までも生きられない。

移植は、臓器提供者（ドナー）、対象臓器（グラフト）、臓器移植者（レシピエント）で成り立つ。肝移植には、脳死（死体）移植と生体移植の2種がある。肝移植は年間国内で400例前後行われ、生体移植が90%を占める。生体移植は、健康体の肝臓の一部を手術でいただきこれを移植する。生体移植の場合、大人のレシピエントには右側の大きいほう、子供のレシピエントでは左側の小さい方をあげることになる。ドナー、レシピエントの手術は、多くの人が関与して平行して行われる。レシピエントでは、悪い肝臓をすべて取り除いてから移植臓器を入れ、血管を縫い合わせる。10-15時間かかる。国内の生体臓器移植では親族以外からの臓器提供は禁止されていて、子供の場合はほとんどが両親から、大人の場合は子ども、配偶者、

兄弟姉妹からとなる。移植は保険診療で、高額療養費還付を受けると月15万円程度で可能である。

死体移植では脳死状態（心停止前）でないと移植が出来ない臓器は心臓と肝臓であり、腎臓脾臓は心停止状態からでも使用できる。脳死状態というのは、高度な脳である大脳などと基本的な生命維持を司る脳幹も含め機能停止した状態であり、植物状態は脳幹は保たれていて自力呼吸が出来る状態である。全脳の機能が停止しても人工呼吸器で酸素を入れれば心臓が動いて血液が送られ臓器は死なない状態となる。これが脳死状態で、現在では植物状態と明確に区別できる。植物状態から蘇る例はあるが脳死からはない。国内の死体臓器提供数は心停止状態と脳死合わせて年間100例止まりである。2010年に臓器移植法が改正され、脳死状態での臓器提供意思表示が確認できない場合でも家族の意思で臓器提供が出来るようになった。これ以降脳死での臓器提供は5倍に増えた。が心停止状態からの提供は減ったので合計ではあまり増えず、国際的には極めて少ないままである。臓器提供率トップはスペインで年間人口100万人あたり35人だが、日本は1人程度である。近年アジア諸国でも増えているが日本では増えていない。万が一の時、家族承諾での提供でも、ドナーカードは家族が決断する一助になる。保険証、免許証にも意思表示が記載可能になっている。11月は移植が行われたのは全国で6件だが、登録し移植を待っている人は13,870人いる。ドナー一人から複数の臓器が提供され何人もの命が救われる。今年（2014年）は224人が臓器の提供を受けた。

熊本大学でも2011年から脳死ドナーからの移植が出来ようになった。現在年間35-40例移植手術をしているが、たいへんだがやりがいのある仕事だと思っている。脳死移植では、ドナーがいる病院まで、全国地域を問わず、取りに行くことになる。摘出して持ち帰り移植するまでに、肝臓は半日から1日余裕がある。新幹線や飛行機で行き来する。移植後の生存率は生体移植も脳死移植も変わらない。5年で80%、10年で70%生存している。

臓器移植は、患者や生体ドナーのリスクも考えると厳しい医療である。国内では生体ドナーが亡くなった例が1例だけある。一方、4年前、生後13日の子に移植したこともあるが、父親であるドナー共々元気である。また、移植後に、野球特待生になった子もいるし、出産して母親になった患者もいる。移植は社会復帰を可能にする医療であり、希望を生む。生体ドナーのリスクを考えると脳死移植の広まりが求められるが、日本の状況はまだそこまで行っていないのが現状である。



同 窓 生 訪 問

株式会社ディー・エヌ・エー ファウンダー 取締役会長
横浜ベイスターズオーナー

南場 智子さん(89回) 81卒を訪ねて

会報編集長 石井 智裕(79回) 71卒

都市再開発で日々変わり行く
渋谷、高層ビルにエビルに
DeNA 創業者の南場智子さ
んをお尋ねしました。

・ 中学高校の頃はどのような
たか

南万代小学校から宮浦中学
に進学しました。活発で、部
活でも先生のいう事は聞か
ないタイプでした。新潟高校で
は水泳部と生物部に所属しま
した。生物部ではナポレオン
というトランプゲームを良く
やっていました。普段は全く
勉強しないので、試験前の一
夜漬けで切り抜けていたのだ
ですが、高校ではそうは行かず、
中学との違いを感じました。

高校入学当初は、応援歌の練
習で先輩が教室に指導に来て、
椅子蹴っ飛ばしたりして本当
にびっくりしましたね。その
時初めてお腹の底から声を出
した気がします。丈夫を歌い、
青陵祭の準備もすごいエネル
ギーをかけて、踊りの振り付

・ 進学、就職は

津田塾大学進学は父

・ 起業をされるきっかけは
DeNA の起業は 1999
年です。その年の 1 月に、ある
会社の社長と会食した際の話題
がきっかけで起業を考えるよう

けを考えたりして楽しい経験
でした。家が厳しく、友人の
家に泊まりに行くことも禁止
されていましたが、佐渡での
部活の合宿は許しが出席参加
することができました。夜み
んなで港に行き仰向けになり、
綺麗な夜空に多くの流れ星を
見ました。あまりに美しく、
すごく感動して今でも心に
残っています。

た理数系の教科も担当して、塾
の講師や家庭教師などのアルバイ
トをしていました。そして大学
4 年の時に 1 年間留学しまし
た。日本に戻り、就職活動を始
めたとき、津田の先輩からコン
サルティング会社のマッキン
ゼーに誘われたのが入社のかっ
けです。マッキンゼーは大企
業の社長に色々助言指導する職
業ですが、十数年後、いざ自分
が経営者になってみると、コン
サルタントより実際に起業、経
営するほうが圧倒的に大変なこ
とだと思いました。

になりました。起業して 4 年は
失敗の連続でしたが、徐々に軌
道に乗るようになりました。
2008 年には新潟にカスタ
マーサポートセンターを開設、
現在も 300 人程度のスタッフ
に働いて頂いています。ここで
は、DeNA が運営するサイ
トの健全性を維持する目的で、
サイト上でのやり取りを 24 時間
体制で監視している、重要な存
在となっています。

・ 横浜ベイスターズのオーナー
になられたいきさつは

横浜ベイスターズの話が持ち
込まれた時はすでに社長を退任
をしていました。自分の経営の
基本は「地に足を着け本業を
しつかりやる」ということだっ
たので、プロ野球のような華や



かな世界に参
入するには躊
躇がありました。会社の事
業にとってプ
ラスになるか
慎重に確認し、
最終的に賛同
しました。結
果として、会
社のブランド
やネット上の
サービスも広
く知れ渡り、

良かったと思っています。普段
はネットを通じてのお客様が中
心ですが、スタジアムではお客
様の喜ぶ顔が直に見れたりし
て、会社を良い意味で成長させ
てくれたと思うし、社員のモチ
ベーションアップにも役立った
と思っています。横浜の地域貢
献やプロ野球の業界貢献などを
通じ、会社が公のもの、公器で
あるという自覚が格段に強くな
りました。ただ今世紀では優勝
はしておらず、球団経営もまだ
まだなのでしっかりとさせよう
と思っています。今期は今の時点
(5月末)ではトップの成績だ
が戦力層は厚くなく、チームの
みんなのがんばりでやってきて
いる状況です。故障者を出さず
に、CS 進出は実現したいで
すね。

・ ベイスターズの本拠地に新潟
は？ などという声もありま
した。

想像の上ではいろいろ考えて
シミュレーションすることもあ
ります。一般的に、常に複数の
他の選択肢を持つていることは
重要です。

・ 後輩たちにアドバイスするこ
とがありました。

現代はネットが極めて一般的
になり、普通の人が実際の生活

とネットの世界を行き来してい
るようなところがあります。そ
してネットの利用時間の割合が
長くなってきています。それな
らネット上でのサービスを受
け、消費するだけでなく、自ら
創造することにもチャレンジし
て欲しい。

ネットやスマホ上のアプリ
を使うだけでなく、いわゆる
アルの世界における糊とはさ
みのような道具である、プロ
グラミングのスキルを身につ
けて自分で作ってみるという
経験は 1 回はして欲しいです
ね。そういう経験からマーク・
ザッカーバーグ*を超える起
業家になる道が開けるかもし
れない。世界の仲間と連携し
地域を越えて自己の世界を広
げて欲しい。

ご多忙のところ有難うござい
ました。
美しく、さわやかな服装では
つらつとしたお話を伺いた
しました。南場様の益々のご活
躍をご祈念申し上げます。

(* マーク・ザッカーバーグ
Facebook の創始者)

OB 会 報 告

ボート部 OB 会

青山艇友会定時総会開催

会長 渡辺 研二 (75 回) 67 卒

明治 28 (1895) 年、旧制中学に端艇部が発足してから百二十年。大橋先生が顧問のとき、艇の老朽化対策に OB が協力し合い、それを機に昭和 52 (1977) 年に OB 会が誕生。それから毎年定時総会を開催しております。

▼出席者 16 名

長谷川義明 (同窓会長)、馬場伸行 (県ボート協会長)、佐藤弘明 (顧問)、田村大介 (顧問)、加藤高弘 (58)、能登省三 (59)、佐藤勝弘 (65)、笠原紘洋 (68)、富田省一 (72)、渡辺研二 (75)、大井峰夫 (76)、水沼眞一 (78)、

総会は艇友会長を議長として進行。報告事項、事業・予算案等を審議し承認されました。今回は役員改選の時期でもありました。昨年度の年会費納入者は 91 名で、多くの先輩諸兄のご支援に感謝しております。現役指導は、若い外部指導者を加え、さらなるコーチ支援をしたいことを確認。先生から高校生の活動状況の報告をいただき、勉強と練習、部員確保に努力していることがよくわかりました。懇親会は、中華料理をいただき



(総会) 会長を議長として議案審議

今年 3 月 7 日に久々に OB 会を開催しました。我々のレスリング部は 20 数年前に部員が集まらなくなり、廃部の憂き目にありました。OB 会の開催も危うくなりました。

今回幹事役を買って 5 年ぶりに開催しました。参加者は思ったより多く 18 名でした。

部員がいけないということは、寂しいことで会員増が見込めません。会員には現状再認識していただいて、危機感を持ってもらうこと、今後の継続をどうするか問いかけました。対策としては、部復活の件は諦めない。学校には存在感と繋がりを感じ



し、計画しています。

▽艇友会報第 36 号を平成 26 年 9 月 1 日に発行。紙面は、現役情報や寄稿などで、OB と現役の情報紙となっております。

▽5 月 10 日の新潟県高校春季大会 (津川漕艇場) で現役の入賞 (1 位・3 位) を確認しました。今後とも期待しています。

部はなくても OB 会は活発です!

青山レスリング OB 梅田 正敏 (76 回) 68 卒

今年 3 月 7 日に久々に OB 会を開催しました。我々のレスリング部は 20 数年前に部員が集まらなくなり、廃部の憂き目にありました。OB 会の開催も危うくなりました。

今回幹事役を買って 5 年ぶりに開催しました。参加者は思ったより多く 18 名でした。

部員がいけないということは、寂しいことで会員増が見込めません。会員には現状再認識していただいて、危機感を持ってもらうこと、今後の継続をどうするか問いかけました。対策としては、部復活の件は諦めない。学校には存在感と繋がりを感じ

して、会員相互の親睦を図っていきます。悩みとしては、若い期の参加が少ないということ。今回の出席者から、10 年刻みで役員を配置して出席増を期待しています。

いずれにしても、卒業して数年してくると何故か、学生時代のことが懐かしくなり、人が集まれば昔話に花が咲くようです。思いでのひとつとして、小生卒業の翌年からですが、夏の合宿後、仮眠して、夜中歩いて弥彦山まで行き、

東京青山バレーボールクラブ OB・OG 会

滝沢正規 (80 回) 72 卒

を、社員所で一服して、一気に登山という大変荒っぽいイベントがありました。恐る恐る参加しましたが、若さバカさの勢いでなんとかやり遂げました。疲れましたが心地よい満足感を味わえました。いい思い出になっています。最後に恐縮ですが、これを読みました同窓会の皆様にお願ひです。レスリング関係者知り合いがいましたらお声かけ願ひれば幸いです。よろしくお願ひします。

グランド北側の「五本松」の

出席者の中でも特に 60、62 回

の OB たちは、当時の新潟県下には敵無しの強豪チームで、全国高校総体や国体にも出場経験があり、その結束の固さは類を見ないものを感じました。現同窓会長の長谷川義明氏 (61 回) も、その「固い結束の年代」です。長谷川氏は新潟県代表として山形国体で活躍され、京大工学部ではバレー部主将を務められ、関西大学二部リーグでの優勝を牽引されました。又、草創期、女子生徒の存在が希少価値だった頃、新潟高校女子バレー部の創設に尽力された合田 (旧姓河合) 春美さん (66 回) をは

わの中、大丈夫斉唱で会を締めくくる。こんな風に良い雰囲気。毎年OB会が開催されるのは、諸先輩(特に運営に携わってきた方々)のおかげ、この場をお借りして感謝したい。

現在、私は東京に住んでいるが、高校時代の仲間や先輩、後輩がけっこう東京近郊に住んでいる。同郷の、しかも同じ部活で汗を流した仲間というのは貴重だ。時には東京の居酒屋で集まることもある。お酒を酌み交わし、懐かしい話に花が咲く。それもこれも、新潟高校のつながりがあってこそ。いつまでもこうしたつながりを大切にしていきたいと思っている。

剣道部OB会 平成26年度の活動報告

青山剣友会 事務局代表

滝沢 俊一 (104回) '96卒

総会

平成26年8月16日、平成26年度総会が新潟市の白山会館で開催されました。

総会に先立ち、平成26年2月に以前20年に渡り監督を務められた田辺先生など、青山剣友会の縁の深い方が物故されたこともあり、白山神社本殿で慰霊祭を開催しました。

慰霊祭には会員40名程度が参加し、お祓いの後、順に玉ぐしをささげました。

その後の総会では平成25年度会計報告を行い、会計係の坂上結希氏(103回)から決算説明があり、また、会計監査の松本一志氏(94回)が当日欠席のため、事前に監査された報告を事務局でさせていただき、承認されました。また、

新年会

1月2日、平成27年新年会が新潟市のイタリア軒にて開催されました。吉田会長をはじめ28名の会員が集い、和やかに新年をお祝いしました。今回も8月の総会に続き若手会員が多数参加し、賑やかな会となりました。

同日午前中に母校新潟道場で行われた新年初稽古会は、多くの参加をいただき、総勢54名の現役生・OBが寒い中、気合いと熱のこもった、充実した稽古が行われました。

母校剣道部とOBの合同稽古会 毎月1回、新潟高校剣道場にて現役生・OBを始め一般の参加で実施しております。

会員の活躍

平成26年11月23日、新潟市黒埼地区総合体育館で新潟県実業団剣道大会が開催されました。個人50歳代の部で荻莊誠選手(87回)が3位、団体2部で日

産プリンス新潟販売&NTTソルコ合同チーム(中堅98回新井信洋選手・大将95回町田一越選手)が優勝しました。



る者も見当たらない。笑顔とお互に励ましあって「春の四六会ゴルフコンペ」のティーオフである。

1987年12月、吉田至夫、佐々木隆輔両君が再会を機に忘年会(飲み会?)を行ったのが「四六会(昭和46年卒)の起源」と言われている。

「四六会ゴルフコンペ」は10年後の1997年7月。以降は春秋の年2回開催で、秋のコンペを津川CCとし、プレー後は泊りがけで「秋の茸鍋」をつづいての表彰式、宴会、カラオケ、麻雀と中年オヤジの定番1泊ゴルフとなっており、今でも続いている。プレー後の表彰式(酒宴?)には毎回ゴルフ不参加者も集まり再会を祝し盃を交わしている。

この会の大きな特色は賞品にあるといつも過言ではない。選りすぐった地場野菜である。新潟クボタ鈴木専務の選んだ野菜は絶品である。因みに今回の優勝者、関川壽郎の賞品は「春の山菜セット」で仕入れ先まで廻れる見事なものであった。小生は欲しかった「アスパラ」

が入っており、それだけで愛妻への貢物として評価してもらえる逸品であった。また今回も2次会の酒宴だけ参加する者も多数いた。79期としては、このコンペを6月14日の「青山ゴルフ会」練習ラウンドと位置付け優勝に向け必勝を期すものである。

小泉伸之君「市議会議員選挙連続トップ当選」という慶事があり5月23日夜に再び祝宴が開かれたのである。14人集まり2次会まで盛り上ったが、とにかく宴会が好きで、何時も何か理由を探している感じもする。

元気で絆の固さは喜ばしい事であるが健康にも留意し、長く続く「四六会」でありたいと思っている。



同期会 報告

四六会ゴルフコンペ

神林 裕 (79回) '71卒

2015年4月19日(日)、スタートしていく様子は久しぶり午前9時50分、晴天の新津CCに集えし16名。満開の桜咲く中、緊張する者も集中力を高めている。

粟島訪問の想い出

牧野 榮策 (通 11 回)

69 卒

通信制同窓の皆様お元気で
しょうか。

私は3年ほど前から、足のしびれを感じ検査を受けたところ、脊柱管腰部狭窄症と診断され、その為、出歩くのが億劫になり、青山同窓会総会もしばらく欠席致しておりまして。そんな時、通信8回卒の高橋さんから、青山同窓会報に一筆書かないかの電話を頂き、同窓生の動きもさっぱり掴めぬまま、何年振りかで原稿用紙と向き合う羽目になりました。そんな折、テレビのニュースで粟島の観光客誘致のため、渡航船の乗船料割引

の話が報じられておりました。粟島浦村には、通信制の同窓生が何名かおられ、在学中に粟島巡回指導学習の時や、新発田支部の交流会・阿賀北地区同窓生の懇親会等で、幾度か島を訪れ同窓生の人達にお世話になってきました。

の話を報じられておりました。粟島浦村には、通信制の同窓生が何名かおられ、在学中に粟島巡回指導学習の時や、新発田支部の交流会・阿賀北地区同窓生の懇親会等で、幾度か島を訪れ同窓生の人達にお世話になってきました。

初めて粟島を訪ねたのは昭和40年頃で、汽船も新潟西港からの出航で、島まで3時間位掛かったように記憶しております。その頃の島は、電気も水も貴重で消灯は9時、風呂も汗を流す程度で、島は竹林が多く、夏の夜は蚊帳なしでは眠れませんでした。今は、

乗船も岩船港からで高速船で1時間、フェリーで1時間半、ライフラインも完備、下水道普及率も100パーセントで快適な生活環境になり、観光シーズンには多くの人で賑わっているようです。

私が最後に訪れたのは恩師や先輩と一緒に平成11年の6月だったと思います。10回卒の脇川久春さんが粟島浦村の助役に就任されたところで、観光事業にも力を入れておられ、島の特産真竹を使って竹炭を焼くプラントの建設や観光遊歩道の整備、また温泉も掘削中で、役場庁舎近くに入浴施設を建設中でした。あれからもう15年、当時の人達も現役を引退、新しい人たちの時代と思われる。その後も観光面に力を入れ、昔島に住んでいた馬の飼育の復活や、島特産のジャガイモを使った焼酎造りなど話題を提供して頑張っているようです。この機会に地区の仲間と声を掛け、温泉に浸かり、新鮮な海の幸とワッパ煮を肴に、恩師を囲み島の人達と、イモ焼酎で一杯やりながら思い出話が出来たら最高だろうなあと考えてきました。

自然の良さを残した島の発展を願いながら。

特別寄稿

「秋艸会」へのお誘い

上村 光司 (50 回)

43 卒

校舎の前庭に「ふなびとははやこぎいでよ」の歌碑が立つ秋艸道人會津八一(7回)は、今年11月21日に第60回忌を迎えます。その遺墨、遺品等を伝える會津八一記念館も、去る4月1日で開館40周年となります。記念館は当時新潟日報社長だった小柳胖氏(35回)が中心となって実現し、現在の館長は元大阪大学教授で美学の権威の神林恒道氏(65回)です。昨年8月に、寄居浜近くから信濃川右岸のメディアシップに移りました。

ところで會津八一に関わる会がもう一つあります。「秋艸会」といい、目下、私が会長を仰せつかっています。昭和21年7月新潟日報に入社して配属されたのが、発刊間もない「夕刊ニヒガタ」で、社長が會津先生でした。月に一度ぐらいか、着流しで編集室に現われて、紙面について叱り、あるいは古今東西の文化について語られた。そのご縁で身の程知らずにも席を汚しています。

と言うわけで、今更とは思いますが秋艸会の現状について紹介させていただきます。

(1) 会報「秋艸」発刊 會津八一研究にかかわる論文や著作の紹介 〇会員の自由寄稿 〇會津八一記念館の事業予告、内容報告など。B5版30ページ前後、年2回発行。

(2) 秋艸道人忌 毎年11月21日、瑞光寺(新潟市西堀通3)で法要のほか講和など。

(3) 研修旅行 年に1、2回。會津八一ゆかりの地、美術館などを巡っています。貸切りバスで日帰りが多い。見

学先の方々の説明が丁寧で喜ばれています。

(4) 会費年2,000円。

率直に言って會津八一の書は、習字のお手本とは全く別次元ですから取付きにくい。私も50年余り、ボツリボツリと先生の書を眺めていくにつれ、その凄さ、その妙を私なりに知るようになりました。現在も見るとに新発見がある思いです。

とにかく接してみ、時が熟することが鍵なのだろうと、実感しています。もしもまだ會津

八一に遠かった方は、おついでに會津八一記念館に寄って作品に接し、受付で「秋艸会に入る」と言っていたければ幸いです。

記念館、秋艸会の所番地と電話は次のとおりです。

〒950-0088

新潟市中央区万代

3-1-1

新潟日報メディアシップ5階

新潟市會津八一記念館内

電話

025-282-7612



すばらしき仲間たち

小杉 秀一 (61回) 53卒



叙勲された長谷川義明会長

わが母校「青山」は、すばらしき仲間たちの宝庫である。第61回生から一昨年の佐々木繁君（産婦人科医・元新潟県医師会会長・元日本医師会副会長）の旭日小綬章受章に次いで、本年度春の叙勲で待望して止まなかった長谷川義明君（元新潟市長・青山同窓会会長・全国良寛会会長）が、同じく旭日小綬章受章に輝いた。4月29日付け新潟日報朝刊の顔写真を見て、待ちぼうけの日頃の不満も吹き飛んだ。7時を待ちきれずにお祝いの電話を入れてたのだが、歳のせいか思わず涙が出て絶句してしまった。多くの内圧・外圧に耐えに耐え抜いての遅まきの受章にてか、ほっと安堵された空気を感じたものである。

叙勲・褒章・大臣表彰ばかりが、人の値打ちを決めることではないと誰しも思う。わが61回生には、それに遜色ない社会貢献の著しい方々が、各界に輩出していて枚挙のいとまがないほどである。すばらしい仲間が限りなく多くおられることに、驚くと同時に心から敬意を表したい。

長谷川君とは、それに負けないすばらしい共通の仲間を持っている。縦の仲間の青山排球部である。諸先輩の猛烈なごきごきに生き残ったメンバーで、非力ではあったが抜群のチームワークと下級生の急成長のもと、宿願の全国大会出場切符を掴んだのである。忘れもしない昭和27年9月、第7回秋季国民体育大会・みちのく大会山形分会場の土を一緒に踏んだ仲間である。全国大会3連続出場となる排球部の卒業写真を見ていると、叙勲・褒章などに推薦したいメンバーが確実に4〜5人もいる。すでに受勲された望月彰先生（第48回卒）と長谷川君を入れて14〜5人中、5〜6人もいるなんて凄いなと思う。そんなチームの一員となれたことは、何も

のにも代えがたい宝物である。折々の場面で苦況に立ったとき、あるいは新しい挑戦を思い立って身震いするとき、わが仲間たちを思い浮かべ、勇気を振り絞り、ときには素直に助けを求めて来たことを思い出す。今日まで生きながらえて来れたのも、すばらしき仲間たちから頂いた有形無形のご支援のおかげと、心から感謝申し上げたい。

わが期は八十路に入った。これまで滅私奉公よろしくわれわれ仲間をとりまとめてくれたのが、新潟代表幹事の江口良助君

青山鳥鷺の会27年度ご案内

齋藤繁夫 (旧職員・77回) 69卒

- * 名称 青山鳥鷺の会
- * 会長 長谷川義明 同窓会長
- * 会員数 現在25人
- * 会員資格 青山同窓生と現旧職員および会員の推薦ある方
- * 今年度例会
 - 前期 27年8月9日(日)
 - 後期 28年2月13日(土)
- * 会場 新潟会館(中央区幸西3-3-1)
- * 日程と会費
 - 鳥鷺の会 昼食付き二千円
 - 10時〜15時半 対局数 四局
 - 懇親会 飲み放題四千円 15時半〜17時半
 - 片方のみの参加可。
- * 26年度成績上位者
 - 前期8月9日(土)
 - 優勝 中野祥孝(102回)
 - 準優勝 飯塚良彦(旧職員)
 - 3位 小林啓志(66回)
 - 後期2月8日(日)
 - 優勝 佐藤 彬(71回)
 - 準優勝 西脇知哉(101回)
 - 3位 飯塚良彦(旧職員)
- * 連絡先
 - 025(386)1560
 - 電話・FAX共用
 - 青山鳥鷺の会事務局齋藤繁夫 入会ご希望の方は事務局までご連絡ください。

海外の同窓生だより

ネパール在勤の高校同期、同窓生を訪ねて

渡辺 毅之 (72回) 64卒

エベレスト、ヒマラヤ等、世界有数の山を擁するネパール・カトマンズ郊外で、マグニチュード7.8の大地震が発生。今現在、6,000人を超える死者が出ている様子。

小生、昨年8月、当地に赴任する青山同期生の梅田君を訪ね、当地に行った経緯がある。彼はODAの仕事で、現地の河川、道路、トンネル工事の企画、設計に従事。

ネパール料理店での写真
(左、石黒夫妻、右奥、梅田君、右手前、小生)

訪れたネパール、世界最貧国であり、カレーを主とするスパイス料理もかなりおいしかった。

今回の震源地の「ポカラ」と言う町も訪れたが、アンナプルナ山(7,800m)を擁するヒマラヤ連峰山麓の街で、まちなかに大きな湖があり、湖面にそのアンナプルナ山が映えていた。そのヒマラヤやエベレスト等にトレッキングに訪れる日本人や欧米人も多く、雪崩、崖崩れ等に

よる被害も発生。
帰国前夜、現地のプラント関係の日系会社の社長で、青山一期後輩の石黒夫妻と、梅田君と共に、ネパール料理店で、夕食を共にした。石黒君は大成建設勤務時代に、エベレストを登頂。その後、冒険家・三浦雄一郎氏のエベレスト登頂をサポート。青山学術文化講演会で講演した

追悼文

歴史小説家 火坂雅志 (83回) の急逝を悼む

旧職員 上杉 雅之 (60回)

52卒



次を考え、しやにむにやらねばという気になりますね。」「あなたならやれる。体に気をつけてね。」こんなやりとりでした。彼の前向きな姿勢を心強く思いました。

お別れのことば

越後の大河信濃川に生まれた鮭の稚魚が悠々たる大海に出、大きく成長した後、故郷の水の香を求めて川をのぼってきます。

火坂雅志さんとは昨年10月10日お会いしたのが最後となりました。新潟市仏教会主催の講演会の前に、スタッフの方の許しを得て講師控室に突然お邪魔したのです。短い時間でしたが快く迎えてくれました。
その道の達人、つまりプロ中のプロがよく口にするように、「ひとつ大きなことをやると、勉強のかたわら詩やコントなど

事もある。ワイン等を痛飲。心許せる青山同窓生、同期生同志で、愉快で有意義な一時を過ごした。その2人の同期生、後輩から、幸い無事とのメールが届いている。
日本のみならず、世界各地で活躍する青山同窓生。彼らの奮闘に、声援を送りたい。

を地元の新潟日報紙に投稿。母校で教師として英語を教えていた私が最終学年の3年7組クラス担任として彼と共に学ぶようになり、私の好きな宮沢賢治のいろんな作品について彼とよく語り合ったものでした。なかなかの文学少年で、特に3年生の時、新潟日報紙上で彼の作品の掲載がもつとも多かったと思います。

32才で作家デビューした時には、デビュー作「花月秘拳行」を(拳法の使い手としての西行を描いた作品) 早々と私に贈ってくれました。

やがて中央の文壇で注目される大作を次々に発表。ふるさとをこよなく愛する彼は約10数年前、徳川家康の隠し参謀「黒衣の宰相」を、次いでNHK大河ドラマの原作「天地人」を新潟日報紙上に発表したのです。

火坂雅志氏のこの快筆は、彼がふるさとの香を慕って戻ってきたかった地元越後に新潟日報紙があったればこそ達成されたと思うのです。つまりかつての文学少年中川雅志君が再び新潟日報に戻ってきた時にはもつとも脂の乗った鮭ならぬ、今や日本有数の歴史小説家 火坂雅志だった訳であります。戦国時代の越後の名将上杉謙信をNHK大河ドラマに再度登場させる夢

を抱いていただけに、彼の急逝は誠に慚愧に堪えないのであります。

ああ、何故に天は夢を抱く有能な人物をこのように早く召さるのでしょうか。まことに悔しい限りです。

合掌
平成27年4月20日

同窓監督の映画

「谷川さん、詩をひとつ作ってください。」とよせて 声のちから

小沼 進一 (83回)

75卒

在にした。

杉本信昭の11年ぶりの監督作品「谷川さん、詩をひとつ作ってください。」が昨年11月より全国各地で公開されている。詩人・谷川俊太郎とその詩のドキュメンタリー映画である。
「詩は人々の日常と向き合えるのか」という詩人・谷川の言葉に、様々な土地に住む様々な境遇の人々との対話を通して迫っていく。

1973年、杉本は新潟高校ラグビー部主将になった。当時、新潟工業高が全国でも屈指のチーム。『打倒！工業』が目標だった。彼は対話した。部員たちと、監督と。主将は、練習中も、試合中も声を出し続ける。その声がチームを、試合を作る。11月、県内チームとしては10年ぶりに工業に勝利した。新人戦ではあつたが、翌日の新聞記事になった。

前作「自転車でいこう」では、ナレーションで杉本の声。主人公の自閉症の青年・プーミョンと対話し、そして観客に語りかける。その声と映像でプーミョンとその街を愛すべき存



「詩のちから。映画のちから。」

母 校 は 今

平成27年度入試結果

進路指導主事 堀越 康裕 (97回) '89卒

<平成 27 年度入試概況>

2015 年度の大学入試センター試験（以下、センター試験）の確定出願者数は前年度よりごくわずかな減少となりました。全志願者に占める現役生の割合（現役占有率）は 81.4%で、2 年ぶりに 80%を上回って過去最高の占有率となり、この結果センター試験はさらに現役生中心の入試になったといえます。また、既卒生は、大幅な減少となりました。これは今年度入試から数学と理科が新学習指導要領での出題になることを敬遠し、昨年度のうちに合格した大学に入学した生徒が多く、浪人生自体が少なかったことが要因です。国公立大学の確定志願者数は前年から 9,874 人の減少で 4 年連続減少し、志願倍率もダウンしました。一方で主要私立大の志願者数は前年の確定志願者数を上回りました。

系統別志願状況では、理系はすべての系統で減少したのに対し、文系では法、国際関係など増加した系統もあり、近年継続していた「文低理高」が沈静化したのが特徴といえます。文系が増加した要因は、ここ数年の反動に加えて、センター試験平均点が文系ではアップしたことです。また、首都圏を中心に景気回復が実感されることから、受験生が文系の系統に戻ってきたことも要因と考えられます。理系は、地歴・公民の選択率の高い地理 B、倫理・政治経済の平均点ダウンに加えて、得点調整が実施された理科②で特に現役生にとって厳しい結果だったことにより目標点数を下回り、出願に至らなかった受験生が多くなったことが要因です。

<平成 27 年 3 月卒業生の進学状況>

「数学」と「理科」で既卒生への移行措置が実施されたセンター試験では、旧課程科目の平均点が軒並み新課程の平均点を上回り、現役の生徒には逆風となりました。しかし、本校の多くの生徒はその影響に左右されることなく、果敢に「入りたい大学」への志を貫いて、受験に向かい、難関大学（東大、京大、一橋大、東工大、国公立大医学

部医学科および旧帝大）の合格者は 55 名でした。

東京大の現役合格者数は、文Ⅰ 2 名、文Ⅲ 2 名、理Ⅰ 1 名、後期 2 名の計 7 名、（過去 5 年間の推移は 7 → 8 → 8 → 12 → 7 既卒は文Ⅰ 1、理Ⅰ 1、理Ⅱ 2 の 4 名で、現浪計 11 名でした。

他の主な旧帝大については、過去 3 年の推移を見ると、京大 3 → 7 → 4、東北大 18 → 31 → 21、北大 9 → 14 → 6 で、一昨年並みの合格者数となりました。

一方で、国公立大医学科の現役合格者は、3 年連続増加していましたが、今年度は 11 名の合格にとどまりました。内訳は、新潟大をはじめ、東北大、千葉大などに合格者を出しています。過去 5 年間の推移を見ると 19 → 19 → 24 → 26 → 11 で、私立大を含めても現役で 12 名の進学となり近年にない厳しい結果となりました。これは、前述のセンター試験の平均点ダウンによる影響も少なくなく、全国の公立高校を見ても同様な傾向が散見されました。医学科を目指し浪人した既卒生を含めると合格者数は 31 名です。本校では、医学科志望者が多いことから、医師を目指す生徒には、メディカルコースでの学習や講演会、大学訪問等を通じて絶えず動機づけしつつ、現役での合格者を増やせるよう今後とも取り組んでいきます。

進学率は例年並みの 60.0%となりました。安易に妥協せず、一人ひとりの最難関を目指していますが、本校生徒が目標とする大学の入試が依然として厳しい競争であることを意味しています。自分の可能性を信じて、捲土重来を期す生徒に対しては、昨年同様「ますらお通信」を送って激励していきます。

<最後に>

「文武両道」の伝統を堅持しつつ、「入りたい（入るべき）大学」に合格できる力をつけるべく、私たち職員は今後も生徒の学力向上に努めてまいります。同窓会の皆様方からのご支援をよろしくお願いいたします。

主な大学合格者数（現役合格者延べ数）

主な国公立大学 合格者数								
大学名	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
北海道大	10	9	11	10	13	9	14	6
旭川医科	0			0	0		0	0
東北大	28	24	29	22	30	18	31	21
秋田大	1		0	1	4	2	4	1
山形大	2	2	3	3	3	6	1	2
筑波大	4	7	8	6	5	2	15	4
埼玉大	1	1	1	1	0	0	1	2
千葉大	7	10	6	5	4	7	8	5
東京大	6	10	4	7	8	8	12	7
東京外語大	5	3	2	6	1	2	6	1
東京学芸大	8	6	8	4	2	5	4	2
東京工業大	3	2	4	1	1	3	0	1
東京農工大	3	1	2	1	2	1	2	1
お茶女子大	0	5	1	2	4	2	3	3
電気通信大	1	2	0		1			0
一橋大	2	3	5	5	3	2	3	2
横浜国立大	4	9	1	7	4	4	3	6
新潟大	84	65	50	52	59	53	53	55
長岡技科大	1			1				
富山大	3	2	1	4	4	4	4	1
金沢大	9	7	4	8	10	4	8	2
信州大	1	3	4	0	2	4	1	1
静岡大	0					0		
名古屋大	0	1	1	1	0		1	2
京都大	4	3	6	7	2	3	7	4
大阪大	1	3	3	2	4	3	1	3
神戸大	1	2	1	0	0	0	1	1
九州大				1		0		
首都大東京	4	3	4	7	5	0	2	2
横浜市立大	2	2	2	1	1	1	0	
新潟県立大		7	6	5	8	7	7	7
静岡県立大		1	0	0		0	0	
大阪府立大	0	1		1		0		
大阪市立大	1	1						
その他	17	12	9	12	11	13	16	13
合 計	213	207	176	183	191	163	208	155

主な私立大学 合格者数								
大学名	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
早稲田大	34	40	28	30	34	25	28	18
慶応大	15	13	15	13	11	10	10	7
明治大	48	36	40	29	31	32	37	35
立教大	23	28	15	9	7	12	13	8
法政大	29	31	17	13	12	15	26	12
青山学院大	12	12	17	9	10	8	17	7
学習院大	6	2	2	2	2	3	3	1
北里大	5	11	10	3	4	5	1	6
国学院大	2	5	2	1	2	2	1	2
国際基督教大	5	3	2		1	2	1	0
駒沢大	3	3	1	2	9	2	7	3
自治医科大	1	0	0	1		1	1	0
上智大	5	8	6	4	5	9	6	12
成蹊大	2	5	1		2	4	6	0
成城大	4	0	1	2	2	2	1	1
専修大	3	10		4	2	2	4	2
玉川大	5		1		1		2	
中央大	36	33	22	19	26	31	42	15
津田塾大	3	10	5	5	0	6	13	4
東海大	4	3			1	3		3
東京農業大	12	4	4	2	8	3	6	10
東京理科大	27	20	28	11	15	14	17	13
東京薬科大	1		4			2	3	
東京女子大	5	7	3	3	4	5	2	2
東邦大	2	1	1	1		3	1	1
日本大	15	19	8	9	12	12	12	4
日本女子大	2	4	2	7	4	2	4	4
明治学院大	8	4	3	2	2	2	2	5
文教大	7			1	4	1	4	0
神奈川大	2	0				1	3	1
新潟薬科大	5	6	9	6	6	8	7	10
同志社大	4	2	1	3	6	7	7	3
立命館大	20	7	7	17	23	9	12	13
関西学院大	0	1	0		1	0	2	0
その他	62	46	50	37	45	59	59	40
合 計	417	374	305	243	292	302	360	242

*空白は未受験、0は合格者0（ゼロ）

「準備」

教育実習生 伊藤 光甫 (119 回) 11 卒

「準備」がいかに大切かを痛感した 3 週間でした。

国語科の実習生として、2 年生の古典・現代文の授業を担当させていただきました。実際に授業をしてみると、教材研究の段階では見えなかった自分の理解の甘さに気付きました。教材を教えるのではなく、教材で生徒に考えさせる授業を行うためには、あまりに「準備」不足で、これまで「準備」だと思っていたことは単なる自分の勉強に過ぎず、教壇に立つためには、もっともつと教材研究をしなければならぬのだと感じました。

教育実習生の立場で先生方の授業を見学させていただくと、高校生のときには分らなかった発見がいくつもありました。山場の作り方、板書、生徒に対する問いかけや生徒の意見の活かし方など、55 分の授業の中にはしなければならぬことがいくつもありました。生徒も積極的に授業へ参加し、自ら「考え」、他者の意見を聞いたり、話し合ったりして「考え」、意欲的に学んでいる姿を見て、私もこのような授業ができるようになりたいと強く思いました。

指導教官の山田睦雄先生をは

私が教育実習を通して学んだこと

教育実習生 平石 陽子 (120 回) 12 卒

振り返ると、3 週間の教育実習を通して多くのことを学ばせて頂いたと感じております。先生方や生徒の皆さんにはとても感謝しています。

私は国語で 2 年生の現代文と古文を担当しました。授業を通して学んだことは、グループワークの難しさです。大学の授業では、生徒が考えを共有したり、教えあったりするような「学び合い」の場が大切であると教わっていたので、私は生徒が授業にどんどん参加するような授業にしたいと考えて授業を組み立てていました。しかし、実際に授業で、ある問いに関する話し合いをさせようとする

いただかなければならなかったことです。教育実習を通して得たものを必ず次へ活かさなければ意味がないと思います。「準備」に「準備」を重ね、もっともつと勉強を続けていきたいです。

新潟高校で教育実習をさせていただき、改めて先生方の偉大さ、生徒の直向きさを実感しました。最後になりましたが、ご指導して下さった先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

職員の異動

平成 27 年 4 月

多かつたように思います。実習が始まる時に挨拶に行くタイミングや、授業を見学させていただいた後の作法など、これから社会に出る人間として必要な礼儀作法を、とても細やかにご指導いただきました。この場でご指導いただいたことは、自分が人と人との社会の仲で生きてい

く上で最も重要なものであり、私の中で一生忘れられないものとなりました。厳しいお言葉を下さった先生方には本当に感謝しております。今後、この場で学ばせて頂いたことを活かして、立派な社会人となるように努力してまいります。

〈退職 転出 (転出先)〉

校長 草間 俊之 (定年退職)
副校長 加藤 徹男

教諭 樺澤 直人 (新潟江南)
高橋 かおり (津南中等)

佐久間 俊 (巻)
裏田 仁 (市立万代)

長谷川 暁子 (国際情報)
目黒 孝之 (小千谷)

高木 創 (燕中等)
山本 岳

登石 浩明 (新潟県史工業)
阿部 素子 (新潟工業)

須崎 由史 (十日町)
櫻井 麻利子 (村松教頭)

実習職員 本田 清美 (加茂)
常勤講師 渡辺 大介

〈退職 (退職)〉
小坂 昇寛

〈新発田非常勤講師〉

副校長 北岸 信治 (新潟江南教頭)

竹内 喜紀 (巻新採用)
八木 香南 (新潟南新採用)

実習助手 (常勤) 高橋 悟 (新発田農業実習助手 (常勤))
非常勤講師 藤巻 仁実 (十日町新採用)

玉木 正一 (退職)
田辺 武志 (退職)

事務長 鷺津 勇
〈定年退職 新潟北高校事務長〉

庶務係長 塩田 博幸
〈新潟地域振興局健康福祉部 総務福祉課庶務係長〉

学校技術員 (嘱託) 石附 秀一 (退職)
校長 石井 充

〈転入 (前所属)〉
副校長 北岸 信治 (新潟江南教頭)

校長 石井 充 (高等学校教育課課長)
副校長 北岸 信治 (新潟江南教頭)

学校技術員 (嘱託) 小林 光伸 (新規)

校長 石井 充 (高等学校教育課課長)
副校長 北岸 信治 (新潟江南教頭)

学校技術員 (嘱託) 小林 光伸 (新規)

校長 石井 充 (高等学校教育課課長)
副校長 北岸 信治 (新潟江南教頭)

学校技術員 (嘱託) 小林 光伸 (新規)

<平成 27 年度新潟高等学校県総体等結果報告>

- 1 陸上競技 男子：走幅跳 1 位 稲川 尚汰 (北信越大会出場)
三段跳 1 位 稲川 尚汰 (北信越大会出場)
八種競技 1 位 石井 雄大 (北信越大会出場)
110 mH 3 位 安立 悠紀 (北信越大会出場)
4×100 mR 7 位 浅香・金子・古俣・稲川
女子：3000 m 5 位 榎 千遥 (北信越大会出場)
女子円盤投 5 位 鍋谷有花梨 (北信越大会出場)
砲丸投 8 位 鍋谷有花梨
- 2 水泳 男子：100 m自由形 7 位 目黒 佑樹
400 mリレー 6 位 目黒 佑樹・遠藤 丈・齋藤 樹・丸山 伸吾
女子：50 m自由形 5 位 伊藤ひかり 400 m個人メドレー 8 位 野口ななみ
- 3 バレーボール 男子：1 回戦 新潟 2 (20-25、25-21、25-20) 1 村上
2 回戦 新潟 2 (25-10、25-11) O国際情報
3 回戦 新潟 O (9-25、12-25) 2 長岡工業 ベスト 16
女子：1 回戦 新潟 O (6-25、8-25) 2 五泉
- 4 バスケットボール 男子：1 回戦 新潟 121-49 村松 2 回戦 新潟 98-33 塩沢商工 3 回戦 新潟 79-129 開志国際
女子：1 回戦 新潟 92-62 見附 2 回戦 新潟 50-82 開志国際
- 5 ソフトテニス 男子：個人戦 2 回戦進出 島垣 碧伊・長谷川海斗 組
団体戦 1 回戦 新潟 3-O 見附 2 回戦 新潟 O-3 柏崎翔洋中等
女子：個人戦 3 回戦進出 高野さやか・城田 和泉 組
2 回戦進出 佐藤 日那・坂上 真樹 組、佐藤 史奈・高橋 郁衣 組
団体戦 1 回戦 新潟 2-1 帝京長岡 2 回戦 新潟 1-2 高田商
- 6 卓球 男子：ダブルス 2 回戦進出 山田 詩音・窪田 倅生 組、藤 熾・石川 潤一 組
シングルス 3 回戦進出 藤 熾 2 回戦進出 山田 詩音
女子：ダブルス 3 回戦進出 西野 夏純・田村明日香 組、本間 美雪・本間 史織 組
- 7 バドミントン 男子：団体戦 1 回戦 新潟 3-O 正徳館 2 回戦 新潟 3-O 加茂農林 3 回戦 新潟 3-O 国際情報
4 回戦 新潟 O-3 北越 ベスト 16
女子：団体戦 1 回戦 新潟 1-3 羽茂
- 8 サッカー 1 回戦 新潟 5-O 糸魚川 2 回戦 新潟 O-3 長岡向陵 ベスト 32
- 9 ラグビー 1 回戦 新潟 48-10 高田 2 回戦 新潟 10-85 新発田
- 10 柔道 男子：団体戦 予選リーグ 新潟 2-3 上越総合技術 新潟 O-5 北越 予選敗退
個人戦 81kg 級 2 回戦進出 和泉 貴大
66kg 級 ベスト 8 柄澤 佑企 (北信越大会出場)
100kg 級 ベスト 8 相田 陽介 (北信越大会出場)
- 11 剣道 男子：団体戦 3 位 (北信越大会出場)
女子：団体戦 予選リーグ敗退 個人戦 ベスト 8 浅香里枝子 (北信越大会出場)
- 12 山岳 男子：12 位
女子：6 位
- 13 テニス 男子：団体戦 1 回戦 新潟 3-O 糸魚川白嶺 2 回戦 新潟 O-3 長岡
女子：団体戦 2 回戦 新潟 2-1 東京学館新潟 3 回戦 新潟 2-1 新潟東
準々決勝 新潟 O-2 長岡大手 ベスト 8
個人戦 シングルス ベスト 8 小野 朋花
- 14 フェンシング 男子：学校対抗戦 2 位
個人フルレー 6 位 渡邊 奏平
個人エペ 3 位 渡邊 奏平 4 位 小林 慶祐 5 位 白杵 拳人 6 位 中野 剣也
個人サーブル 3 位 田中 大祐
女子：学校対抗戦 1 位 (インターハイ・北信越大会出場)
個人フルレー 3 位 坂井 鮎 (北信越大会出場) 5 位 松野 瑛里 6 位 佐藤 玲奈
個人エペ 1 位 安藤 真理 (インターハイ出場)
個人サーブル 3 位 佐藤 玲奈
- 15 弓道 男子：団体戦 7 位 個人戦 5 位 早見 晃 準決勝敗退 湍谷 夢人
女子：団体戦予選敗退 (9 位) 個人戦 準決勝敗退 中川 千里、稲場 秋名
- 16 ボート 男子：シングルスカル 5 位 神田 佳亮 6 位 田畑 佑樹
ダブルスカル 1 位 池田 駿平・鎌田 理喜 (インターハイ・北信越大会出場)
5 位 山田 海・堀川 竜靖
女子：ダブルスカル 3 位 石垣 静香・佐々木美穂
舵手付きクォドルプル 3 位 角田ゆき乃・岡田もも子・堂坂 美仁・須貝 優貴・花野愛里咲 (北信越総体
出場)
- 17 空手 男子：団体組手 2 回戦進出 団体形 1 回戦敗退
女子：団体組手 1 回戦敗退 団体形 1 回戦敗退 個人形 2 回戦進出 春川 美友
- 18 野球 第 132 回北信越高等学校野球新潟県大会 2 回戦敗退 新潟 O-7 新潟商業 (7 回コールド)
- 19 写真 奨励賞 野崎 未紗 石川 愛望 入選 花野愛里咲 高橋あまね
- 20 囲碁 男子：団体戦 (松村 朋直 眞島 大武 長谷川博也) 2 位
個人戦 Bブロック 3 位 眞島 大武 Cブロック 1 位 長谷川博也
女子：個人戦 Aブロック 4 位 曾川マリー (全国大会出場) Fブロック 1 位 佐藤あすか
- 21 将棋 男子：個人戦 3 位 古川 祐也

同期会を開催される期の
幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙そして A4 サイズが入る角 2 の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしく願います。

会報へ寄稿される方へ、
原稿字数のお願い

原稿の字数は 800 字から 1,000 字の間で書いて下さるようお願いいたします。1,000 字以上ですと紙面の関係で載せられなくなることがありますのでよろしく願います。原稿については掲載時期や紙面制限の関係で、字句文章の修正、割愛をさせていただくことがあります。

表紙題字：小川 和恵 (101 回)
イラスト：池主 憲夫 (68 回)

平成 26 年度 (H 26. 4. 1 ~ H 27. 3. 31) 青山同窓会会費納入者

10 月より 3 月末まで納入いただいた方を掲載しております。4 月より 9 月末まで納入された方は前号に掲載済みです。会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。

全日制と通信制を併わせ、振替口座を統一しましたのでご注意ください。

1 口 1,000 円。できるだけ 2 口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座

全日制・通信制 00650-7-4455 青山同窓会

全日制	萩野一英	廣瀬淳之	村山 績	山岸一成	平松健二	93回S60年	119回H23年	40回H10年
51回S19年	馬場政説	福島貞夫	75回S42年	山田実和子	本間俊一	石山友英	小松美国	丸山信夫
青木博夫	牧山俊	笠原 洵	勝又宣夫	横川憲司	84回S51年	川嶋大介	120回H24年	
52回S20年	真山 俊	鈴原正俊	勝見敏雄	米原洋吉	五十嵐英一	齋藤義之	水戸部慶彦	
佐藤隆三	64回S31年	関根俊明	小藤輝雄	渡辺英吉	石井史郎	鈴木利枝	渡邊公則	
渡邊千春	大倉孝男	高尾英明	野村修一	梅津博之	白倉雅晴	94回S61年	122回H26年	
53回S20年	風間治雄	弦巻烈子	藤井建一	及川純子	鈴木紀夫	佐藤元孝	早福美佳	
近泰男	北村市郎	戸田重樹	松井幸博	上村のぞみ	星野紹英	本多孝		
白井 勇	清野邦男	能田直子	吉川恵次	菊淵 信	85回S52年	95回S62年	通信制	
55回S22年	田才邦彦	伏見省三	76回S43年	杵淵 馨	雨木若慶	河原 俊	3回S36年	
伊藤健二郎	中村輝久	宮原 卓	荒川秀夫	小出 馨	今井豊重	佐藤玄	川端欽吾	
川崎貞夫	中山輝也	横田圭一郎	77回S44年	国領保則	川口敬以子	坂内佳子	7回S40年	
56回S23年	網干道雄	65回S32年	木津正新	斉藤好一	近藤真一	96回S63年	高橋茂子	
荒川昭寿	若槻晃一	内山博勝	佐藤俊雄	羽田一郎	成田一衛	林正子	8回S41年	
金子昌次郎	岩野一郎	坂井征一郎	田代雅春	藤原幸和	藤田信也	本間英之	金田静江	
高橋主治	清水薫	鈴橋孝一	田代良子	本間英務	86回S53年	97回H1年	9回S42年	
田中陽一	58回S25年	富永聡男	77回S44年	宮原 務	阿保聖子	高橋綾子	木村美枝	
行田 宏	堀川芳男	中島紀博	天尾雅実	81回S48年	板井悌二	三浦一人	10回S43年	
59回S26年	奥村繁樹	二宮武彦	石黒富士夫	五十嵐 修	小林正明	渡部公正	立石香代	
川上昭八郎	66回S33年	柳喜重郎	川島博夫	五十嵐和幸	中山 均	99回H3年	11回S44年	
60回S27年	阿部和彦	72回S39年	田中裕介	今村紀子	山内豊明	水澤 泉	野上久美子	
尾嶋静	風間聡一	青海道寛	田辺謙二	小見清	87回S54年	101回H5年	12回S45年	
星野政一	風沢幸夫	赤川洋太	長井健司	後藤真理	大森克利	白田敦子	川崎隆子	
牧野毅	関本敏雄	石川 庄	西山 茂	坂井秀弥	神田一浩	打越輝昌	庭山 実	
矢川和偉	福山忠利	上沼歆子	78回S45年	高木勝一	長谷部 淳	小林史佳	吉野久美子	
61回S28年	三井昌子	奥山賢治	岡崎美津子	寺山正志	宮田佳則	白石寛幸	13回S46年	
金子章弘	67回S34年	小林正昭	金子裕一	幅野 徹	山崎浩吉	102回H6年	中山雅之	
小池 弘	小沢秀雄	斎藤古志	木李泰一	丸川友裕	池田寛雄	佐藤邦栄	目崎町子	
小嶋政孝	小野勝義	祖父江邦子	桑原正順	宮澤政裕	長田 裕	103回H7年	梅田和恵	
小島政孝	小野勝義	高橋祐介	小林信夫	横山 淳	岸 亮	鈴木康士	20回S53年	
中村正春	原 敏明	早川武武	鈴木裕二	渡辺重博	小池真理	鈴木貴裕	西沢 均	
62回S29年	68回S35年	堀川 武	山口 英	82回S49年	89回S56年	105回H9年	24回S57年	
大高康夫	青木一衛	73回S40年	79回S46年	荒川育子	倉田裕一	成澤 良	高松昭夫	
白井民司	五十嵐 一	足立幹夫	枝並和男	斎藤朋子	佐野義孝	107回H11年	26回S59年	
永井梓仁	大原綾子	篠川重雄	岡崎英夫	白倉真澄	継田雅美	関 裕子	南雲トミイ	
丹羽耕一	河西村昌厚	佐野重和	勝江重徳	尻江光定	90回S57年	108回H12年	31回H1年	
藤野正義	上野公和	関谷清和	渡辺光定	83回S50年	佐藤美由紀	本間拓也	田巻ナホ子	
茂木敏子	後藤林八	長谷川理	倉田由美	相田八郎	信太典子	富田基史	宮崎圭央	
渡辺千鶴	滝沢 猛	丸山澄夫	小池康義	安宅賢秀	白須洋二	111回H15年	渡辺作司	
渡辺千里	69回S36年	74回S41年	佐藤隆	五十嵐謙一	91回S58年	112回H16年	34回H4年	
和田斐夫	飯島信輔	木村喜藏	鈴木正昭	唐沢俊郎	西倉 健	川崎貴嗣	今井純子	
63回S30年	小林 勲	笹川雅之	富井和子	島田 茂	渡部美紀	中川 亮	森岡一雄	
内田 宏	西野良夫	佐藤成昭	富山浩司	鈴木時男	92回S59年	116回H20年	渡辺ともこ	
関 守二		広野 光	三保 恵美子	中野 和男	笹崎 幹	服部宏紀	39回H9年	
					丸山まきみ		国井正則	